

会 議 概 要

会 議 の 名 称	平成29年度第2回弘前市地域自立支援協議会
開 催 年 月 日	平成29年6月30日（金）
開 始 ・ 終 了 時 刻	14時から15時まで
開 催 場 所	弘前市役所 市民防災館（新庁舎）3階 防災会議室
議 長 等 の 氏 名	弘前学院大学 社会福祉学部 講師 立花 茂樹
出 席 者 （ 1 4 名 ）	弘前市地域自立支援協議会委員 障がい者生活支援センター「すみれ」 所長 川村 和康 地域生活支援センターぴあす 所長 三浦 暢子 仙知会相談支援事業所 管理者 齊藤 一明 弘前市障害者生活支援センター 所長 外崎 理香 障害児・者サポートセンター大清水 園長 村上 伸也 弘前市医師会 副会長 秋山 邦男 特別養護老人ホーム「福寿園」 園長 長尾 春夫 弘前市身体障害者福祉連合会 理事 山内 清一 弘前地区心身障害児者父母の会連合会 会長 大高 義昭 弘前保健所管内精神障害者家族会いずみの会 副会長 會津 茂子 弘前市社会福祉協議会 事務局次長兼岩木支部長 安田 昭弘 弘前学院大学 社会福祉学部 講師 立花 茂樹 弘前公共職業安定所 所長 三橋 聖男 中南地域県民局地域健康福祉部福祉総室 次長 野呂 敏夫
欠 席 者 （ 7 名 ）	社会福祉法人七峰会 拓心館グループ総合施設長 高橋 正安 社会福祉法人抱民舎 施設長 今村 健 NPO 法人 光の岬福祉研究会 代表理事 太田 真 弘前第一養護学校 校長 成田 安男 弘前第二養護学校 校長 川口 晃世 ㈱弘前ドライクリーニング工場 代表取締役 久保 弘之 弘果 弘前中央青果㈱ 取締役部長 大中 実

事務局職員の 職 氏 名	<p>健康福祉部理事 須郷 雅憲  福祉政策課長 今 敏行  福祉政策課長補佐 秋田 美織  福祉政策課障がい福祉係長 佐藤 龍太  障がい福祉係 社会福祉主事 葛西智恵美</p>
会議の議題	<p>(1) 弘前市障がい福祉計画第4期計画の進行管理について  (2) 第5期障がい福祉計画策定に係るアンケート(案)について(修正案の提示)</p>
会議資料の名称	<p>資料1 弘前市障がい福祉計画第4期計画進捗状況報告書  (平成28年度)  資料2 弘前市障がい福祉計画第3期・第4期計画実績推移  (平成24年度～平成28年度)  資料3 福祉に関するアンケート調査(案)について  【修正意見反映後】  資料4 障がい福祉関係事業所アンケート(案)について  資料5 福祉に関するアンケート調査(案)について  【地域活動支援センター依頼】  参考資料 障害福祉サービス利用実績の推移</p>

会 議 結 果	
1 開会	会議定足数（21名中14名出席）の確認
2 会議	
(1)弘前市障がい福祉計画第4期計画の進行管理について	<p>案件（1）弘前市障がい福祉計画第4期計画の進行管理について、事務局から説明。</p>
委員	<p>成年後見の人数について、一人の後見人がどのくらい担当しているか。</p>
委員	<p>年平均の利用実績はわかったが、月ごとにするとどうなるのか。その変遷をもとに今年度の実績をつくってほしい。</p> <p>相談支援事業所では多いときで月10件の新規案件を手掛けているが、その中に介護保険該当（65歳以上）だが介護度が低いために介護保険ではなく障害福祉サービスを利用したいという利用者がいる。また、障害者支援施設に90歳代の入所者がいる話も聞く。実績見込みを作成するにあたり年齢構成等も考慮してはどうか。</p>
(2)第5期障がい福祉計画策定に係るアンケート（案）について（修正案の提示）	<p>案件（2）第5期障がい福祉計画策定に係るアンケート（案）について、事務局から説明。</p> <p>（第2回協議会における意見を基に修正案の提示）</p>
(3)意見等	
委員	<p>実績報告で述べた項目とアンケートで質問する項目が重なっているところはそのまま反映されると思うが、そうでないところはどのようにアンケート結果が次期計画に反映されるのか。</p>
事務局	<p>移動支援を例に説明。</p>
委員	<p>当初地活用アンケートも郵送にて返送ということだったが、郵送ではなくセンターで受け取る形でよいか。回答率をあげるとなれば郵送ではなく、その場で記入してもらうことがひとつの方法だと考える。</p>
3 閉会	(会議終了)

その他必要事項	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議の公開、非公開（公開）</li><li>・取材（陸奥新報社記者 1 名）</li></ul>
---------	---